

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

| | |
|------|--|
| 対象部局 | 社会学部 |
| 大項目 | 4 教育研究組織 |
| 中項目 | |
| 小項目 | 4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものである |
| 要素 | 教育研究組織の編制原理 |
| | 理念・目的との適合性 |
| | 学術の進展や社会の要請との適合性 |
| | (KG1) 研究活動の状況 |
| 小項目 | 4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。 |
| 要素 | |

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

| 2009年度に設定した「目標」 | 左記目標の「指標」 | 進捗状況評価 | | | | |
|---|--|--------|------|------|------|------|
| | | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 |
| 1. 学科・系・領域などから成る教育研究組織の実効性を検証し、必要な改善を行う | →学科・系・領域などから成る教育研究組織の実効性の検証(毎年)と必要な改善の実施 | B | B | B | B | / |
| 2. 研究成果の社会への還元を目的とした社会学部研究会、学術講演会および学術シンポジウムを定期的に開催する | →社会学部研究会、学術講演会および学術シンポジウムの実施回数 | B | B | B | B | / |

☆

| 2010年度以降に設定した「目標」 | 左記目標の「指標」 | 進捗状況評価 | | | | |
|-------------------|-----------|--------|------|------|------|------|
| | | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 |
| | → | / | / | / | / | / |
| | → | / | / | / | / | / |

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

| | |
|-----|--|
| 目標1 | 3系7領域カリキュラムに対応した教育研究組織(各領域担当者会議およびカリキュラム検討委員会)によって、責任ある教育体制を整えている。2012年4月には、社会学部将来構想委員会が設置され、2013年1月に検討結果が答申された。新しい教育体制の構築に向け、教育研究組織も見直される予定である。 |
| 目標2 | 研究成果の社会への還元を目的として、社会学部研究会を5回(5月、6月(2回)、10月、11月)開催した。 |
| 備考 | |